

# 暮らしを支える県の役割発揮を

## 津本県議が予特で質問

富山県議会9月定例会 26日開かれ、日本共産党の予算特別委員会が9月の津本ふみお議員が質問



質問に立つ津本県議=9月26日、県議会委員会室

に立ちまし「まず田を処分してから」と言われ、生活保護を申請しなかった例を告発。

津本議員は、生活保護における福祉事務所の窓口対応について質問。解雇されて社員寮を出た相談者が「住所の用

切な対応のないよう、研修の工夫・充実や監査を通じて徹底をはかりたいとのべました。

津本県議は民間アパールの契約・更新の際に、連帯保証人を用意できない人のために「居住支援法人」の制度を有効あるものにするよう要望しました。

水口土木部長は、賃貸住宅関係団体等に、住宅確保利用配慮(はいりよ)者の利用を拒まない賃貸住宅の登録を働きかけるとともに、法人指定に向

調査し検討してまいりたい」とも検討していきたい」とのべました。

津本県議は、県営住宅について、支援の必要な低所得者が、保証人を確保できなければ入居できないという事態を避けるために国の標準条例(案)が改正されたことを紹介。保証人を不要とするよう求めました。

水口土木部長は、「賃貸収入の観点から連帯保証人は必要と考えるが、『案』の考え方や他県の場合も参考にしながら、

# 豚コレラ、保育料無償化など 県内地方議会9月定例会の特徴

9月市町村議会は、多くの議会で18年度の一般会計などの決算認定や19年度の一般会計などの補正予算の審議が行われました。

な展開となりました。当初政府は「輸出できなくなる」ことを理由に「地域限定の豚へのワクチン」を渡っていました。

国では、副食費を無償化する自治体も増えていきます。また、高齢者の運転免許自主返納に伴うコ

8月下旬に党県議会議員団主催で、地方議員研修会を行いました。初めてテーマとして「自治体の財政分析と決算審査について」を講義していた

幼児教育・保育の無償化が10月1日から実施されましたが、これまで保育料の一部として市町村が徴収していた3〜5歳

を行うことなどが共通して質問で取り上げられました。

「決算審査は、予算審議